

松本市地域づくり推進交付金実績報告書

令和 8年 3月31日

(あて先)松本市長

(申請者) 新村地区あたらしの郷協議会

1 交付決定額

I	金 550,000円
---	------------

2 本年度実績の報告

(1) 本年度の交付金事業の報告

① 事業名: あたらしの郷協議会の組織・運営事業				
実施主体	あたらしの郷協議会			
実施日(期間)	令和7年5月9日～令和8年3月31日			
実施場所	新村地区内			
事業概要	新村地区あたらしの郷協議会の事業について、住民向けに「あたらしの郷通信」を毎月発行。			
地域づくりの成果・効果	住民向けの便り(あたらしの郷通信)を発行することで、協議会が現在何に取り組んでいるか、どんな地域の課題があるのか等を広く周知することができました。			
課題	委員に松本大学生の参画を検討			
決算額	a+b+c	財源内訳		
		a	b	c
	142,493円	142,493円	0円	0円

a : 本年度の交付金額のうち、この事業に充当した額

b : 前年度の交付金の繰越額のうち、この事業に充当した額

c : この事業に充当したその他の財源の額

② 事業名: 地域振興事業				
実施主体	あたらしの郷協議会「地域振興部会」			
実施日(期間)	令和7年5月9日～令和8年3月31日			
実施場所	新村地区内			
事業概要	新村地区の地域振興に向け松本大学との連携による各種事業の開催、多目的研修センター除却に伴う対応、空き家対策事業等を実施。			
地域づくりの成果・効果	松本大学と連携し、スマホ教室、寺子屋など学生主体の事業を開催。関係機関との連携が進み、地域との交流が図られました。また、多目的研修センター対策委員会開催、相続と空き家セミナーなど開催しました。			

課 題	新村IC設置に伴う地域振興への取組み			
決 算 額	a+b+c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	63,295円	63,295円	0円	0円

③ 事業名：安全安心事業				
実 施 主 体	あたらしい郷協議会「安全安心部会」			
実施日(期間)	令和7年5月9日～令和8年3月31日			
実 施 場 所	新村地区内			
事 業 概 要	安全安心なまちづくりをめざし、「地域防災」を中心に取り組みました。 ・保育園避難訓練(松本大学防災士コース学生と協働) ・消防団協力のもと、地域の中学生の避難訓練の実施 ・避難所運営及びマニュアルの周知 ・道路標示の再点検			
地 域 づ くり の 成 果 ・ 効 果	保育園の避難訓練では地域と大学、保育園の連携が図られました。また、中学校の訓練では地域の消防団の協力により消防団の活動に理解が深まりました。 松本大学避難所運営委員会の組織構成及びマニュアルの見直しが完了し、地域防災への関心が高まりました。 また、道路標識の点検により、通学路等の危険個所の改善が図られました。			
課 題	避難所マニュアルの周知及び活用			
決 算 額	a+b+c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	258,920円	218,920円	円	40,000円

④ 事業名：生きがいづくり支援事業				
実 施 主 体	あたらしい郷協議会「いきいき部会」			
実施日(期間)	令和7年5月9日～令和8年3月31日			
実 施 場 所	新村地区内			
事 業 概 要	高齢者をはじめ誰もが地域でいきいきと暮らせるよう、生きがいづくりを支援しました。 ・「メンズサロン“パティオ・にいむら”」の実施 ・俳句・川柳の投稿文芸企画の継続、アクリル画教室の開催。 ・公民館と共催し、各種講座を開催 ・有償ボランティア「新の里お助け隊」、プチ送迎ボランティア運営への協力			
地 域 づ くり の 成 果 ・ 効 果	生きがいの場づくりやフレイル予防に一定の成果が見られました。また、身近な課題に対応できる有償ボランティアの運営に協力できました。			
課 題	ボランティアの高齢化、担い手不足			
決 算 額	a+b+c	財源内訳		
		a	b	c
	128,152円	4,134円	37,072円	86,946円

⑤ 事業名：学びの支援事業				
実 施 主 体	あたらしの郷協議会「学びの友部会」			
実施日（期間）	令和7年5月9日～令和8年3月31日			
実 施 場 所	新村地区内			
事 業 概 要	それぞれの事業の学習や実践を通して、人と人の繋がりを創る、開かれた「学びの場」づくりを推進 ・地域学習テキスト「あたらしの郷」の勉強会「新村を語る会」を新村地区文化財保存会、公民館と協働で実施しました。 ・小中学生を対象とした「公民館寺子屋」を開設し、部会員を講師に世代間交流が図られました。 ・公民館と共催し、教養講座を開催しました。 ・「ものぐさ大学」と連携し、他地区の史跡、美術館等特別講座を開催しました。 ・体育協会と連携し、ニュースポーツフェスを開催しました。			
地 域 づ くり の 成 果 ・ 効 果	地域学習テキストの勉強会「新村を語る会」を通して、テキストの有効活用と文化財等地域の魅力を再確認することができました。 学習の場を通じて地区の活性化や連帯感の醸造が図られました。			
課 題	地域学習テキストを活用した文化財の維持・継続のための担い手づくり			
決 算 額	a+b+c	財 源 内 訳		
		a	b	c
	31,431円	31,431円	0円	0円

決 算 額（計） （①+②+③）	A+B+C	財 源 内 訳		
		A	B	C
	624,291円	460,273円	37,072円	126,946円

A：各事業のaの合計額

B：各事業のbの合計額

C：各事業のcの合計額

(2) 本年度の積立実績の報告

該当なし

(3) 本年度の交付金のうち、翌年度に繰り越す金額の報告

I-A-D	金	89,727円
-------	---	---------

[参考]繰越上限額＝I×2／10